

ベトナム語圏日本語学習者の発音に関わる誤用について I

－ 誤用の実態を中心に －

杉本 妙子

キーワード：ベトナム語圏日本語学習者 中国語圏日本語学習者 発音の誤用 漢字の読み 発音の聞き取り

1 はじめに

「漢字圏」と言われる中国語，韓国・朝鮮語（以後，朝鮮語と略す），^{ベトナム}越南語そして日本語は，共通する語彙（漢語）を数多く持ちながらも，音声・音韻的にも文法的にも異なる特徴を持っている。文法的には中国語とベトナム語はどちらも孤立語で類似しており，朝鮮語と日本語は膠着語で酷似している。したがって，日本語学習者の中でも一般に朝鮮語を母語とする学習者は日本語文法を習得しやすく，しかも誤用は少ない。それに対して，中国語とベトナム語を母語とする学習者にとっては，日本語は文法習得が難しい語だという印象を持つものが多く，実際，文法的な誤用は多い。音韻面では，音節を単位とする点で，中国語，朝鮮語，ベトナム語は共通し，拍（音の長さ）を単位とする日本語と異なる上に，有気音と無気音の対立である中国語，朝鮮語とも，有気無気・有声無声の対立であるベトナム語とも，有声無声の対立である日本語とは異なっている。さらに，中国語とベトナム語は声調言語であるが，日本語（共通語）は高低アクセントであり，朝鮮語は声調・アクセントが有意でない言語である。このように音声・音韻面においては，漢字圏の4言語はそれぞれに異なる特徴を持っている。しかしながら，中国語，朝鮮語，ベトナム語3言語圏の学習者は，日本語の音の構造の単純さ・音の種類少なからず，学習は容易だと思いう傾向がある。だが，現実には3言語圏出身の学習者のいずれからでも，日本語の発音の誤用は少なからず観察され，それぞれの母語による誤用の実態に顕著な違いが見られる（注1）。

そこで本小論では，これまで筆者が取り組んできた漢字圏の日本語学習者の日本語の誤用研究として，主に中国語圏学習者の発音に関わる誤用の実態を概観した上で，調査に基づくベトナム語圏学習者の発音に関連する誤用を取り上げ，その実態の分類と誤用の特徴について述べる。

2 中国語圏学習者の発音に関わる誤用とその特徴

中国語圏学習者による日本語の発音や，作文・漢字のよみ等の仮名表記に観察される誤用で，発音上の誤用と考えられるものとしては，次のようなものがある（注2）。誤用例の示し方は，各分類項目に該当する誤りの箇所は，下線付きのカタカナあるいは音の脱落箇所を示す[∨]で表し，（ ）

中に正しい語を示した。

(1) 有声・無声に関する誤用

(例) サギホド (先ほど), カンガク (間隔), ヤドウ (雇う), ユダカ (豊か), ヘンビン (返品), ブタタビ (再び) / ヒョウケン (表現), チカウ (違う), タトー (打倒), トクショ (読書), チブン (自分), ウテ (腕), センジツ (前日), シサイ (資材), カンシャ (患者), アルパイト (アルバイト), 等。

無声子音が有声音に、有声音が無声音になる誤用はもっとも頻繁に観察される。k - g, t - d, s - z (dz), ts - dz, p - b など、有声音と無声音がペアになっている破裂音あるいは破擦音(摩擦音)で起こる。

この誤用の原因としては、中国語では有気音・無気音の対立だが、日本語は有声音・無声音の対立で音の区別の仕方が違うために、無声音が有気音のように発音・認識されたり、有声音が無気音のように発音・認識されたりするためだと考えられる。その結果、有声音と無声音とを逆に表記してしまったり、日本人の耳には有声音と無声音の誤用に聞こえたりするものと考えられる。また、語中の誤用では、連濁に関わる誤用と考えられるものも多い。上の例の、「カンガク (間隔)・ヘンビン (返品)」や、その他、「シグミ (仕組み), トリビキ (取引)」など。

(2) 長音化・短音化

(例) コーラ (コーラ), シュージン (主人), ダイクー (大工), テー (手), ソーシキ (組織) / ネットワク (ネットワーク), クカン (空間), レーゾコ (冷蔵庫), ゾカ (増加), タイオ (対応), タクシ (タクシー), 等。

中国語は音節を単位とする言語であり、日本語のように音の長さが弁別的特徴とならない言語であるため、ほぼすべての母音において、語頭でも語末でも長音化・短音化の誤用が観察される。ただし、語末で長音が短音化する誤用は、オ段長音とシー(形容詞語尾など)が語末に来るときに短音になりやすい。また、語中で短音が長音化する誤用はイ段音の後にk(g)/s(z)がくるとき起きやすく、語中の長音が短音化する誤用はオ・ウ段音の長音で起きやすい。

(3) 撥音に関係する誤用 *例の中の「[∨]」は撥音があるべきところの位置を示す。

(例) オリジンナル (オリジナル), メンモ (目も) / オリ[∨]ピック (オリンピック) / ソーグイ (損害), コーフー (興奮), コンケン (貢献), ハイケン (拝啓), 等。

誤用の種類は、①鼻音の子音m/nの前に撥音(ン=N)が現れる撥音の挿入、②撥音が発音されない撥音の脱落、③長音と撥音の交代、の3種が観察される。

撥音の挿入は、後ろの鼻音の影響で、前の音の後に続けて鼻音をしっかり発音しようとする、結果的に鼻音が長く発音され、日本人の耳には撥音(ン)があるように聞こえたり、学習者の耳には、ンで終わる音+鼻音で始まる音のように聞こえるためと考えられる。逆に、日本語としてはンで終わる音+鼻音で始まる音であっても、ンの長さを有意なものとして認識しな

ければ、撥音を1拍として発音しない、聞き取れないため、撥音の脱落となるものと考えられる。また、長音との交代の場合、長音の発音の途中から鼻から（も）息が出てしまうと、長音→撥音化が起きてしまうと考えられる。逆に、母音の後に現れる撥音において、母音の発音の後、うまく鼻から息が抜けないと、長音として発音される結果となるものと考えられる。

(4) 促音に関係するもの

(例) ハッケン (派遣), キャラクター (キャラクター), ダッセイ (惰性), キエッテ (消えて) / スイッチ (スイッチ), パンフレッド (パンフレット), ナカッタ (無かった) / ケッカ (結果), レットー (列島), フロッピ (フロッピー), チョッド (ちょうど), 等。

誤用の種類は、①無声の破裂音（摩擦音）k/t (s) の前に促音が現れる促音の挿入、②無声の破裂音（破擦音）k/t/p/c (=ts) の前の促音が発音されないもので、特に母音イの後ろの促音で多い促音の脱落、③促音と長音の交替で、特に広母音a/e/oと無声破裂音に挟まれた促音が長音になりやすい、の3種が観察される。

誤用の原因としては、促音は音のない1拍分ほどの長さの部分の一つの音として認識する音で、日本語では無声の破裂音 (k/t/p)・破擦音 (ts)・摩擦音 (s) の前でのみ現れ、無声のそれらの音を発音する際に必要な音の準備態勢の持続時間の長いものである。したがって、音を長さで区切らない中国語話者には区別が難しく、間違えやすいものと考えられる。長音との交代では、本来促音は音がない部分であるが、その音を止めている発音は中国語圏の学習者には難しいようで、促音の前の母音の発音を止めないままのばしてしまえば、長音となってしまうと考えられる。また、促音の前の母音（広母音）にも影響される。

(5) 母語にない音の代替

(例) ショーニ (非常に), アサシ (朝日), シャク (百), チャンパス (キャンパス), チチュー (チキュウ), 等。

「ヒ・ヒャ」や「キャ・キュ」は、中国語にはない音で、「ヒ・ヒャ」「キャ・キュ」と非常に近い音「シ・シャ」「チャ・チュ」を代用して発音したために起きる誤用である。

(6) 母音オの母音ウへの交代

(例) ブンチ (盆地), ユーチェン (幼稚園), イル (色), ウビ (帯), キウン (気温), シュツチュー (しょっちゅう), 等。

日本語の母音オ・ウの音の範囲と中国語のo・uの音の範囲のずれから、日本語のオの発音を中国語のoの発音の範囲内で発音すると、日本人の耳には日本語のウの範囲内の音に聞こえる場合があるために起こる誤用である。

(7) その他

中国語の漢字音を、そのまま使ってしまうために起きる誤用で、「ヨシャ (余暇), シュンソク (迅速), シンリユー (蒸留)」等がある。また、中国語の漢字音とは異なるが、頻繁に観察

されるものとして、「ショースイ (少数), チュースイ (中枢)」等がある。

3 ベトナム語圏日本語学習者の誤用に関する調査の概要

3. 1 調査期間と調査協力者

〈漢字の読み〉ならびに〈発音の聞き取り調査〉を、ベトナム・ハノイにおいて2001年3月、2002年3月、2003年3月に実施した(注3)。これらの調査に協力してくれたのは、下にあげたハノイにある代表的な2大学で日本語を学ぶ学生諸君である。

〈漢字の読み調査被調査者〉 * () 中の数は、分析対象者数

2001年…ハノイ国家大学社会人文科学大学東洋学部日本語学科3年生29名

2002年…ハノイ国家大学社会人文科学大学東洋学部日本語学科2年生18名・3年生23名(22),
ハノイ外国語大学日本語学部3年生93名(36)

2003年…ハノイ国家大学社会人文科学大学東洋学部日本語学科2年生18名・3年生20名(20)

〈発音の聞き取り調査被調査者〉

2002年…ハノイ国家大学社会人文科学大学東洋学部日本語学科2年生18名・3年生23名(22)

2003年…ハノイ国家大学社会人文科学大学東洋学部日本語学科2年生18名・3年生20名(20)

2001年調査は、前節で述べた中国語圏学習者の発音に関わる誤用の特徴ならびに中国語圏・朝鮮語圏日本語学習者の〈漢字の読み〉に関する誤用の特徴(注2)との差異の概略をつかむための第1回の予備調査である。その調査の結果と調査に協力してくれた学生の日本語レベルとを考慮し、漢字の読み調査のために取り上げる語彙を選定し直し、2002年により広い範囲の学生に対して、再度予備調査として〈漢字の読み調査〉を実施した。また、2002年調査では、漢字の読みという、いわば認識としての日本語の発音を調べる一方、日本語の〈発音の聞き取り調査〉(予備調査として)も実施した。そして、2003年調査においては、2002年度調査の結果を踏まえて、〈漢字の読み調査〉ならびに〈発音の聞き取り調査〉の調査対象語を再度選定し直し、実施した。

これら実施した調査のうち、以下の分析ではハノイ国家大学東洋学部日本語学科3年生クラス(2002年調査では日本語学習歴の短い1名を除く22名。以下では、「国家大3年生」等と省略する)で2002年と2003年に実施した調査の結果を中心に、ハノイ外国語大学の調査結果の一部(36名分。以下では、「ハノイ外大」等と省略する)を用いる。国家大3年生は、調査時において日本語学習歴およそ1年半で、日本語レベルは中級から上級レベルに達している。国家大2年生の結果を本論の対象としなかったのは、日本語学習歴が約半年間と短いため、調査票に多くの無回答があり、調査結果そのものが不完全な状態であるためである。また、ハノイ外大3年生は、〈漢字の読み調査〉のみで、その結果はおおむねハノイ国家大学の結果と一致していたため、回答の半分以上が正答である調査票のうち回答者が特定できた36名の結果だけを取り上げた。正答数が多いものだけを

用いたのは、よりレベルが上がっても起こりやすい誤用に関係すると考えたためである。

3. 2 調査票および調査の仕方

(1) 漢字の読み調査

調査票は、これまで筆者が行ってきた中国語圏・朝鮮語圏日本語学習者の〈漢字の読み〉に関する誤用の特徴と比較しつつ分析することを念頭に置いて作成した。具体的には、中国語圏・朝鮮語圏の誤用に特徴的にかつ頻繁に観察されるもので、語の難易度ではおおむね中級レベルの語とし、上級レベルの語も若干含めて選んだ。2002年調査では、2001年調査で確認できた誤用と正しいもの（以下、誤用に対して「正用」という）および無回答の実態から、とりわけ語の難易度（学習レベル）と音節構造に注意して80語を選んだ。2003年調査では、2002年調査のうち40語と新たに66語を加えた106語とした。語の取捨は、2001年・2002年調査で確認できた正用の割合の非常に高いものや連濁の有無による誤用・正用の割合の高いもののうちのいくつかは対象外にする、2002年調査でやや誤用・無回答が多かったものは調査したい音節を含むより難易度の低い語に置き換える、発音聞き取り調査等で取り上げる語彙と比較することを考慮して新たな語を加える、という方針で行った。

調査の仕方は、漢字の読みテストを行う要領で、ハノイ国家大学の日本語の授業時間に各クラスにおいて行った。ただし、調査に先立って、日本語の単語の発音をどのように覚えているか（認識しているか）を漢字テスト形式で調べ、後に誤りの特徴等の結果をまとめて報告・公表することによって、調査に協力してくれた学生をはじめとする日本語学習者の学習に役立てるのが目的であることを断って調査した。なお、2002年調査の国家大3年生クラスは同大学東洋学部日本語学科教官のToàn氏の、ハノイ外大クラスは同大学日本語学部教官のVân氏の協力を得て調査を実施した。

(2) 発音の聞き取り調査

発音の聞き取り調査は、2001年の漢字の読み調査の結果やベトナム語圏日本語学習者の発音についての先行研究、中国語圏学習者の発音に関わる誤用の特徴に基づいて、2002年の調査票を作成した。調査票は、漢字の読み調査に用いたテスト形式では調査しにくい外来語33語を含む55語を取り上げ、読み上げられた単語あるいは短文を聞いて、調査語の発音を（ ）に仮名で記入する形式のものである。取り上げた語の難易度は、中級レベルの語を中心に、上級レベルの語も含めて選んだ。2003年調査は、2002年調査が外来語中心であったことから和語・漢語も大幅に増やすことや、語の音韻構造、漢字の読み調査等との比較を考慮し、外来語41語を含む109語を取り上げ、単語あるいは短文の中の語として聞き取ったものを（ ）に仮名で記入する形式のものとした。

調査の仕方は、単語あるいは短文に区切って2回読み上げ、1行ごとにまとめて確認のために続けて読み上げ、聞き取った調査語を調査票の（ ）中にひらがなカタカナで記入しても

らう形で行った。読み上げ（発音）を行ったのは筆者で、2002年調査の国家大3年生クラス以外は、各クラスの日本語の授業時間に直接発音（読み上げ）をした。2002年調査の3年生クラスは、回答の仕方を含めて直接読み上げる形と同様に録音したもの（カセットテープ）を利用し、同大学教官のToàn氏の協力を得て調査を行った。

以上に述べた各年2種の調査票は、本小論の末尾に解答例とあわせてまとめて示す。

4 ベトナム語圏学習者の誤用の実態とその特徴

4.1 漢字の読みの誤用の実態と特徴

各年の漢字の読み調査において、2人以上が同じ間違いをしたもの（5人以上からの同じ誤りは**太字ゴチック体**）を分類し、以下に列挙する。示し方は、調査票の語の順番通りに正しい表記をひらがなで、誤っている表記をカタカナで示す。各分類に該当する誤りの箇所は、下線付きの**カタカナ**あるいは音の脱落箇所を示す^vで表す。（ ）中は調査語。「その他」には、いくつかの誤用の要因が重なっていると考えられるもの、母音の誤用の可能性のあるものなどをまとめた。なお、異なる漢字・語と誤解して答えたもの、熟語の一部しか回答しなかったものなどは除いた。

2002年調査結果

- 長音の短音化…シュかん（習慣）、ジュたく（住宅）、フけい（風景）、ゴりてき（合理的）、**しん**ゴ（信号）、シュちゅう（集中）、**ふく**シュ（復習）、びょうド（平等）、コけん（貢献）、しょうス（少数）、だいメし（代名詞）、ジュよう（重要）、よていトり（予定通り）、ほんト（本当）
- 短音の長音化…キョウか（許可）、ソうしき（組織）、えんリョウ（遠慮）、**トウ**ざん（登山）、**ジ**コウ（事故）、**しゅ**トウ・シュウと・シュウトウ（首都）、ホうしょう（保証）、トうかい（都会）、シュウよう（主要）、ヨうてい（予定）、フウきゅう（普及）、トうち（土地）、チョウクせつ（直接）、**シュ**ウみ（趣味）
- 清音の濁音化（有声化）…えいギョウ（影響）、たいジョウ（対象）、いっバンてき（一般的）、ねんバイ（年配）、ビョウシ（表示）、ジュよう（主要）、デンけいてき（典型的）、さくビン（作品）、げんジョウ（現象） * 語中のものは連濁による誤用の可能性あり。
- 濁音の清音化（無声化）*…**シュ**ウたく（住宅）、センねん（前年）、**しん**コウ（信号）、ケンしょう（現象）、テンごん（伝言）、コウりてき（合理的）、シュウよう（重要）、てつタう（手伝う）
* 濁点（半濁点）の付け忘れの可能性もあり。
- 連濁する読みの不連濁…だいカイしゃ・タイカイしゃ（大会社）、**やく**タつ（役立つ）、えんタカ（円高）、**く**きる（区切る）、めタつ（目立つ）、**なが**ヒく（長引く）、よていトり（予定通り）
* 濁点（半濁点）の付け忘れの可能性もあり。

- 連濁しない読みの連濁 *…しグみ (仕組み), しゅくバク・しゅくバク (宿泊), みガタ (見方)
*濁点 (半濁点) の付け間違いの可能性もあり。
 - 促音になる音の不促音化…フクかつ (復活), チョクこう (直行), ジツこう・ジツギョウ (実行), タツせい (達成)
 - 促音でない音の促音化…チョッせつ (直接), ヒッよう (必要), シュッぱく (宿泊), イッだん (一段)
 - 促音の長音化…シュウせ (出世), チョウこう (直行)
 - 促音挿入・脱落… (該当例なし)
 - 撥音に関する誤り… (該当例なし)
 - 読みの違い (音読みと訓読み, 音読み同士) *…ジツギョウ (実行), サクぎょう・ツクぎょう (作業), ダイりょう・オオりょう (大量), しゅっセイ・デせ・デセイ (出世), タイめいし (代名詞), ぜんトシ/マエトシ (前年), ちゅうコクじん (中国人), ちょくギョウ (直行), たいゾウ (対象), チめん (地面), アイりてき (合理的), セイかいじゅう・せかいチュウ (世界中), ひょうシ・ビョウシ (表示), タイじ・オオじ (大事), オオサマ・オサマ (多様), タイカイしゃ・オオがいしゃ・オオカイしゃ (大会社), でんゲン (伝言), ドち (土地), えんコウ (円高), ちゅうブン (注文), ヘイどう・ヘイトウ (平等), げんソウ (現象), ケンかた (見方), ケンホウ (見方), しソみ (仕組み), くセツる (区切る), モクタつ (目立つ), やくリツ (役立つ), チョウヒく (長引く), けいサイダイこく・ダイこく・〜オオクニ・オオこく・オこく (経済大国) *長音化・短音化, 濁音化・清音化の可能性や, 濁点 (半濁点) の付け忘れ・付け間違いの可能性のあるものを含む。
 - その他…シュたく (住宅), たいゾ (対象), コりてき (合理的), ジュウよう・チュウよう (主要), しょうスイ (少数), ほセイ・ホウセイ (保証), フッキゅう (普及), たいソウ (対象), げんソウ・ケンジョウ (現象), フクガツ (復活), しんコ・ジンコウ (信号), シュウはく (宿泊), えんコ (円高), イッタン (一段), シュウブン (注文), ユか (豊か)
- 2003年調査結果 * [] 中は, 上記2002年調査で見られた誤回答と一致するが, 1名からだけの誤用を参考として示した。
- 長音の短音化…ジュたく (住宅), たいシヨ (対象), ノりよく (能力), ゴりてき (合理的), しんゴ (信号), がっコ (学校), かんケ (関係), リョウコ (旅行), ほんト (本当) [シュかん (習慣), シュちゅう (集中), ジュよう (重要)]

- 短音の長音化…キョウか (許可), トウざん (登山), ジコウ (事故), きょうトウ (京都), ホウけん (保健), ジュウぎょう (授業), にほんシュウ (日本酒), トウかい (都会), フウきゅう (普及), だんジョウ (男女), リョウこう・リョウコ (旅行), ヨウてい (予定), ドウりよく (努力) [ソウしき (組織), えんリョウ (遠慮), シュウよう (主要), トウち (土地) シュウみ (趣味)]

- 清音の濁音化 (有声化) …えいギョウ (影響), たいジョウ (対象), はっビョウ (発表) [ジュよう (主要)] * 語中のものは連濁すると誤解した可能性あり。
- 濁音の清音化 (無声化) …シュウたく (住宅), センフ (全部), ヒョウいん (病院), じつケン (実現), コウりてき (合理的), センねん (前年), しんコウ (信号), ケンき (元気), テンき (電気), フんか (文化), てつタウ (手伝う), かんカえる (考える), ちカう (違う) * 濁点 (半濁点) の付け忘れの可能性もあり。
- 濁音化・清音化+短音化・長音化… (該当例なし) [シュたく (住宅), コりてき (合理的)]
- 連濁する読みの不連濁…トウサン (登山)
- 連濁しない読みの連濁… (該当例なし)

- 促音になる音の不促音化…フくかつ (復活), チョクこう (直行), ハツせい (発生), アくか (悪化)
- 促音でない音の促音化…ジッケン (実現), サっひん (作品), シュッじょう (出場), テッダう (手伝う) [ヒッよう (必要), イッだん (一段)]
- 促音の長音化…チョウこう (直行), 日本レイとう (列島)
- 促音挿入・脱落… (該当例なし)

- 撥音の脱落…でんゴ^ゝ (伝言)
- 撥音の挿入・撥音と長音の交代… (該当例なし)

- 読みの違い (音読みと訓読み, 音読み同士) …サクぎょう・サツぎょう (作業), アイりてき (合理的), にほんサケ (日本酒), ゾンぞく (存続), ドち (土地), デせき (出席), デショ (出場), カもの (果物), ハイる (配る) [たいゾウ (対象), マエトシ (前年), ちょくギョウ (直行), タイジ (大事), でんゲン (伝言)] * 長音化・短音化, 濁音化・清音化の可能性や, 濁点 (半濁点) の付け忘れ・付け間違いの可能性のあるものを含む。

- その他…たいソウ (対象), いっボンてき (一般的), シツこう (実行), チョウせつ (直接), しんポイ (心配), ノる (登る) [チュウよう (主要)]

以上の誤用例から、次のような特徴が指摘できる。

- 長音の短音化や短音の長音化の誤用は、種々の音節で、語頭でも語尾でも広く起きている。短音化・長音化する音節は、ウ段音とオ段音に集中しているが、これには日本語の長音そのものの音節がウ・オ段に多く、他の母音の長音節が少ないことと関係があると考えられる。
- 清音の濁音化の誤用では、拗長音節や撥音が後接する音節に集中して起きている。濁音の清音化の誤用でも、撥音が後接する音節や長音節に集中する傾向が見られ、この種の誤用は音節構造と関係があることが推測できる。なお、誤用例中でも指摘したが、語中のものは連濁するものと誤解した可能性がある。また、清音化では単純な濁点の付け忘れの可能性も考えられる。
- 連濁するかどうかについては、連濁すべきところが不連濁となる誤用が回答数の点で多く、逆の連濁してしまう誤用はやや少ない。なお、連濁・不連濁については、調査票そのものにおいて連濁するのが正用の語が多かったために、不連濁とした誤用がより多くの語に観察されている。
- 促音に関連する誤用では、促音の挿入と脱落の誤用は見られなかったが（注4）、促音になるべきところの不促音化や促音にならなくてもいいところの促音化、促音の長音化において誤用が多数観察される。
- それに対して、撥音に関する誤用は2003年調査において1語に観察されただけである。このような誤用の現れ方から考えると、日本語の発音の特色のひとつである特殊拍の長音、促音、撥音のうち、撥音がもっとも誤用が起きにくい、つまり学習しやすい音であると言えそうである。
- 漢字の読みを記述する調査であるため、漢字の異なる読み（音と訓、音と音、訓と訓）を答えてしまった誤用は、広く多く観察された。この点は、中国語圏学習者の場合と同じである。現代のベトナムでは漢字は日常では用いられない文字だが、中国語圏学習者同様、日本語学習において1漢字に一つの発音を結びつけて習得してしまう傾向があることが推測できる。

4. 2 発音聞き取りの誤用の実態と特徴

各年の発音聞き取り調査において、2人以上が同じ間違いをしたもの（5人以上からの同じ誤りは**太字ゴチック体**）を分類し、以下に列挙する。示し方は、調査票の語の順番通りに誤りを含む語をカタカナで示し、各分類に該当する誤りの箇所は下線あるいは音の脱落箇所を示す[∨]で表した。また、長音などのカナ書きの仕方は、調査の回答での記述どおりとした。そのため、同じ発音と聞き取ったと考えられる複数の表記を併記しているものがいくつかある。（ ）中は調査語。「その他」には、いくつかの誤用が重なっていると考えられるもの、母音の誤用の可能性のあるものなどをまとめた。また、各分類項目の「*～」で示したことは、回答としては同一でないが誤用が共通するものとその回答数や、誤用がなかった語についてのメモである。なお、語の一部しか回答しなかったものや判読不能のものは除いた。また、分類項目で2002年度調査にはなく、2003年度調査で出てきたものは○で示した。

2002年調査結果

- 長音の短音化…**サラリマン** (サラリーマン), アナウンサ・アナウサ・アナウンシャ (アナウンサー), **エネルギー** (エネルギー), スパマケット・スーパーマケット (スーパーマーケット), **サッカー** (サッカー), **キワド**・キーワド・キウド・キワト (キーワード), **ネットワーク** (ネットワーク), シャワ・サワ (シャワー), **サンブ**・シャンブ (シャンプー), **コラ** (コーラ), コピ (コピー), **コーナ**・**コナ**・コナー (コーナー), **コーヒ**・コヒ (コーヒー), チュシン (中心), **タクシ**・タクシ (タクシー), **ユニク** (ユニーク), **レポート** (レポート), ニュス (ニュース), **ダブルタ** (ラブレター), 日本デット・〜デート・〜デト (列島) *コンピュータの短音化 6
- 短音の長音化…サーワ (シャワー), リーボン (リボン), **ショウユウ**・ソウユウ (醤油), コーラ (コーラ), ハンサーム (ハンサム), チョウドウ (ちょうど), **ダンショウ** (男女), シンボール (シンボル)
- 長音の移動…シャーワ・シャーウ (シャワー), **コー**ピ (コピー), **ユウ**ニク (ユニーク)
- 無声音 (清音) の有声化 (濁音化) …コンピュータ (コンピュータ), サンブ (シャンプー), アバク (圧迫) *サンプルの有声化 4 ※濁点と半濁点の付け間違いの可能性あり。
- 有声音 (濁音) の無声化 (清音化) …ハンドバク (ハンドバッグ), キワト (キーワード), リボン (リボン), フンカ (文化), **ダンショウ** (男女) *シンボルの無声化 3 *マタ (また) / マダ (未だ) の有声・無声の誤用なし ※濁点の付け忘れ・付け間違いの可能性もあり。
- 促音の挿入…コッピ (コピー), タックシ (タクシー), ブッカ (部下)
*見テ / 似テイルの促音の挿入の誤用なし
- 促音化…タッシー (タクシー) *システムのスの促音化 4
- 促音の脱落…ハンドバ[▽]グ・ハンドバ[▽]ク (ハンドバッグ), **カセ[▽]ト**テープ・カセ[▽]トテップ (カセットテープ), ニ[▽]コ (にっこり), スイ[▽]チ・スイ[▽]チョウ・スイ[▽]チュウ (スイッチ), **ミ[▽]ツ** (三つ), ア[▽]バク (圧迫), **ハイ[▽]タ** (入った), 日本デ[▽]ト (列島)
- 促音と長音の交代…カセトテップ (カセットテープ), スイイチ・スイーチ (スイッチ), ハイイタ (入った), **日本デー**ト (列島)
- 促音の移動…**ア[▽]バ**ック (圧迫)
- 撥音の挿入…**ハン**サンム・ハンサンマ (ハンサム)
- 撥音の脱落…アナウ[▽]サ (アナウンサー)
- 撥音と長音の交代…サンブン (シャンプー)

- サ行拗音の直音化…サワ・サーワー (シャワー), サンブ・サンブン (シャンプー), ソウユウ・ソユウ (醤油), マンソ^ン (マンション) *シャワーの直音化 8, シャンプーの直音化 11, ショウユ (醤油) の直音化 4, マンシ^ョンの直音化 5 / *カンシ^ャ (感謝) の直音化の誤用なし
- サ行直音の拗音化…アナウンシャ (アナウンサー) *アナウンサーのサー (サ) の拗音化 4, サッカーのサの拗音化 1
- ラ行音→ダ行音…電子デンジ (レンジ), ダブレタ (ラブレター), 日本デット・デート・デト (列島)
- ラ行音の脱落…ニッコ^ゝ・ニコ^ゝ (にっこり)
- その他…キウド (キーワード), ニックリ (にっこり), シャーウ (シャワー), スイチョウ・スイチュウ (スイッチ), ヒトリ^ゝ・ヒト^ゝ (ストレス), ニース (ニュース), ハンサンマ (ハンサム), ミテイル (似ている), デブツ・デグツ・デクツ (出口), シンプル (シンボル)
*ヒャクネン (百年) の直音化 3

2003年調査結果

- 長音の短音化…コラ (コーラ), コーヒ (コーヒー), ジュス (ジュース), サラリマン (サラリーマン), アナウンサ (アナウンサー), ハンバグ (ハンバーグ), エネルギ (エネルギー), サッカカ (サッカー), スバマケ^{ット}・スーバマケ^{ット}・スーパ^ーマケ^{ット} (スーパーマーケット), レイゾコ (冷蔵庫), サッタ (シャッター), キワド・キワード・キーワド・キイワド・キワド^ー・キワドウ (キーワード), 日本語ジャナル・チャナル (日本語ジャーナル), ユニク (ユニーク), レポト (レポート), ニュス (ニュース), イシヨ (衣装), 日本レット・デット・テト (日本列島), トゼン (当然), タクシ (タクシー), シンゴ (信号), ツイ (注意), ナツカシ (懐かしい), クウケ (風景), チャワ・サワ (シャワー), サンプ・チャンプ (シャンプー), ダブレタ・ラブレタ (ラブレター), クフ (夫婦), トセン (当然)
- 短音の長音化…ショウユウ (醤油), アナウンーシ^ャ (アナウンサー), チョウドウ (ちょうど), エンリョウ・エンドウ (遠慮), シンボウル・シンボール (シンボル), キョウトウ (京都), レイキシ (歴史), ジコウ (事故), ドウロウ・ドウドウ (道路), ムカシイ (昔), リョウコウ (旅行), シュウミ (趣味), ポーケツト (ポケット), リーボン・リーパン (リボン), ハンサ^ーム (ハンサム), マンーシ^ョン (マンション), ホウケン・コウケン (保険), シャンプ^{ール}・サンプ^{ール} (サンプル), ダンジ^{ョウ} (男女), ユウライ (由来)
- 長音の移動…チョコレト^ー (チョコレート), ショユウ (醤油), ハンバグ^ー・ハンバグ^ウ (ハンバーグ), サラリマ^ン (サラリーマン), サッカ^カ (サッカー), コンピユ^ーター (コンピューター)

タ), キワドー・キワドウ (キーワード), コーピ (コピー), ユウニク・ユーニク・ヨウニク (ユニーク), シャーフ (シャワー)

- 無声音 (清音) の有声化 (濁音化) …テンブラ (天ぶら), ブッカ (二日), ハッビョウ (発表)
※濁点と半濁点の付け間違いの可能性あり。
- 有声音 (濁音) の無声化 (清音化) …シュース (ジュース), シンボル (シンボル), トウセン (当然), フッカ (部下), ヒョウイン (病院), リボン (リボン), ポールペン (ボールペン), フレゼント (プレゼント), トセン (当然) ※濁点の付け忘れ・付け間違いの可能性もあり。
- 促音の挿入…コッピー (コピー), シッシステム (システム), イッショウ (衣装), レッキシ (歴史), カッチ (価値), ブッカ (部下)
- 促音化…シッテムム・シッテム (システム), ハッサイ (百歳), レッシ (歴史), ブッカ (二日), フッカ (二日)
- 促音の脱落…ハンドバグ (ハンドバッグ), スイチ (スイッチ), 日本テト (日本列島), キチン (キッチン), ミツ (三つ) *カセットテープの促音の脱落8, ニッコリ (にっこり) の促音の脱落2
- 促音と長音の交代…日本デー (日本列島), スイイチ (スイッチ)
- 促音の移動… (該当例なし)
- 撥音の挿入…シッテムム (システム), ハンサンム (ハンサム), カラン (空)
- 撥音の脱落… (該当例なし)
- 撥音と長音の交代…マンショウ (マンション)
- 促音と撥音の交代…ハンドバング (ハンドバッグ)
- サ行拗音の直音化…サッタ・サッター (シャッター), サベル (喋る), オサレ (おしゃれ), マンソン (マンション), サワ (シャワー), サンプ・サンプー (シャンプー), スルイ (種類)
*シヨウユ (醤油) の直音化2, シャッターの直音化12, シャワの直音化5, シャンプの直音化11, シュルイ (種類) の直音化7 / *シャシン (写真) ・カンシャ (感謝) の直音化なし
- サ (ザ) 行直音の拗音化…アナウンシャ・アナウンシャ (アナウンサー), シャンプール (サンプル) *アナウンシャの拗音化6, レイゾウコの拗音化3
- ラ行音→ダ行音…コーダ (コーラ), デンズ (レンズ), エンドウ・エンジョ (遠慮), 日本デッ

ト・～デート（日本列島），デキシ（歴史），ドウドウ（道路），ダブレタ（ラブレター）

*レットウ（列島）のレとデの交代6，レキシ（歴史）のレとデの交代9，ドウロ（道路）のロとドの交代7，オシャレ（おしゃれ）のレとデの交代5，ガラ（柄）のラとダの交代1，ラブレターのラとダの交代9，ユライ（由来）のラとダの交代1 / *テンプラ（天ぷら）・サラリーマン・ストレス・カラ（空）のラ・レとダ・デの交代なし

・ラ行音の脱落…（該当例なし） *ニコリ（にっこり）のりの脱落1

○ハ（パ）行音→カ行音…キタイ（額），クウケイ（風景），コケット（ポケット），コケン・コウケン（保険），クフ（夫婦） *ヒタイ（額）のヒとキの交代4，フウケイ（風景）のフとクの交代12，ポケット（ポケット）のホとコの交代2，ホケン（保険）のホとコの交代6，フウフ（夫婦）のフとクの交代5 / フツカ（二日）のフとクの交代なし

・その他…スキアキ（すき焼き），カサットテープ（カセットテープ），プルム（フィルム），コンヒュータ（コンピュータ），ヨウニク（ユニーク），ニース（ニュース），ニテ[∨]ル（似ている），ニテ[∨]ク（似ている），ハクサイ（百歳），サブラ（桜），アッパツ（圧迫），リーパン（リボン），チャワ（シャワー），チャンプ（シャンプー），ニコニ（にっこり），プ[∨]チック（プラスチック），フゼント・フゼント（プレゼント），イライラ（由来）

*誤用なし…写真，新聞，熱心，卒業，集中，文化，まだ，また，作る，親切，見て

以上の誤用例から，次のような特徴が指摘できる。

- ・長音化・短音化の誤用は，2002年調査でも2003年調査でも，もっとも多くの誤用が観察される誤用である。そして，語頭・語中・語末のどこの位置でも，すべての母音においてどちらの誤用も起きている。また，長音化・短音化する音節の子音も，広く種々の子音で始まる音節である。誤用が起きうる音節は，特定の音節に限らないと言えそうである。ただし，長音化・短音化ではエ段音の誤用は，今回の調査語の中では2003年調査語の「フウケ←フウケイ（風景）」「レイキシ←レキシ（歴史）」だけでしか見られなかった。また，長音化の誤用では，撥音が前後に接する音節で誤用が起きているものが多い。音環境にかかわらず長音化・短音化の誤用は起きうるが，音環境によって起きやすさに違いがあるのかもしれない。
- ・有声化・無声化の誤用では，有声化も無声化もパ（ハ）行音とバ行音との間の誤りに集中している。また，無声化のほうが有声化よりも多くの子音の音節で誤用が見られる。これは，誤用例中でも指摘したが，半濁音と濁音の付け間違いや付け忘れによるものである可能性が高く，日本語の有声・無声の聞き取りそのものが困難なためではないと考えられそうである。
- ・促音に関わる誤用では，促音の挿入よりも促音の脱落してしまう誤用のほうが多い。さらにその

中でも促音の脱落は、「サッカー・シャッター・アップク（圧迫）」など、促音の前後の音節の母音がアである場合は、促音の脱落は観察されない。一方、促音の挿入では、前接する母音に関係なく誤用が観察される。また、主に無声化する音節で促音と聞き取ってしまう誤用や、促音と長音の交代も観察される。促音に関わる誤用は、種々の形で起きやすい誤用だと考えられる。

- サ行拗音の直音化については、2002年・2003年調査とも「シャシン（写真）、カンシャ（感謝）」の誤用は見られないなど語による誤用の現れ方には違いがあるものの、広い語でこの誤用は起きている。それに対して、サ（ザ）行直音の拗音化は、調査語そのものが少なかったこともあるが、直音化ほど数多くの誤用は見られなかった。サ行の直音化のほうが拗音化よりも起きやすいようである。
- ラ行音からダ行音への交代では、ラ行のラ・レをダ・デと聞き取ってしまう誤用が多数観察される。それに比べると、ロ（リョ）からドへの誤用はやや少ないが、これは調査語の中でロ（リョ）の音を含む語が「道路、遠慮」のみだったためだと考えられるので、全体としてはラ・レ・ロからダ・デ・ドへの交代は、起きやすい誤用だと言えそうである。ただし、この誤用が起きるのは「ラブレター、（日本）列島、レンズ、歴史」など、語頭・複合語の要素の頭で起きている場合が多く、「サラリーマン、天ぶら、^{から}空」など、語中・語末の音節では非常に少ない。このことから、ラ行音からダ行音への交代は、語頭で起きやすい誤用だと考えられる。
- 2003年調査でのみ見られた誤用として、ハ行音からカ行音への交代の誤用がある。この誤用は、語頭でヒ・フ・ホからキ・ク・コへの交代にだけ見られる。2002年調査でこの誤用が観察されなかったのは、ヒ・フ・ホから始まる語が「額」しかなかったことによるものと思われる。なお、「フツカ（二日）」ではこの誤用はないこと、誤用が多数起きている語はもともと長音節であったり、長音化しやすい語であることから、語頭の長音の場合に誤って聞き取りやすいと言えるかもしれない。

5 漢字の読み調査と聞き取り調査の結果の比較と考察

漢字の読み調査結果の実態と聞き取り調査結果の実態を比較してみると、長音・短音に関する誤用では、どちらの調査においてももっとも多くの誤用が種々の音環境で起きている、という共通点がある。この実態は、単なる書き間違いによるものではなく、日本語の長音・短音の弁別が、音節言語であるベトナム語母語話者にとって聞き分けることが難しいものであることを表していると考えられる。ベトナム語圏学習者の日本語の発音では、かなり日本語力が高くても長音・短音の間違いが頻繁に聞かれる。おそらく、ベトナム語母語話者にとって日本語の長音・短音は、意識としても実際の発音・聞き取りにおいても弁別しにくいものであり、その結果漢字の読みにおいても、日本語発音の聞き取りにおいても誤用を起こしやすくなるものと考えられる。この誤用の要因については、今後分析を進めていくベトナム語圏学習者の日本語の発音によって、さらに確証を得られると推測している。

逆に、漢字の読み調査でも聞き取り調査でも誤用が非常に少なかったのは、撥音に関わる誤用である。ベトナム語圏学習者にとって認識されやすく、習得しやすい音と言えるだろう。なお、ベトナム母語話者の日本語の撥音の発音においても、同様のことが言えるかどうかは、今回の調査からはわからない。

一方、2種の調査において誤用の実態に大きな差異があったのは、聞き取り調査では有声・無声についての誤用は少なかったのに、漢字の読み書き取り調査で濁音の清音化の誤用が多く見られた点である。この違いは、日本語の有声・無声をベトナム語母語話者は弁別できるが、漢字の読みを書いたり、聞き取ったものを書いたりする時に、誤ってしまったものだと考えられる。ベトナム語も日本語同様、有声音と無声音の対立があるため、耳で聞いたり口で発音したりすることに関しては、有声音と無声音の区別ではほとんど問題が生じないが、一方、漢字の読みの書き取りの場合には、文字の発音を覚えてそれを書く、ということから、単純な誤りとして濁点「゛」を付け忘れてしまったり、日本語は同音異義語が多いため、覚え間違ってしまったりなどの要因があるのではないかと考えられる。聞き取り調査で、有声音のパ行音→無声音のパ行音の誤りが多いのも、゛と°の付け間違いの可能性はあるだろう。これらの点は、インタビュー形式の調査などで有声・無声の弁別について調査したり、学習者の日本語の発音の分析などから解明できると考えている。

同じく、誤用の実態に大きな差異があったのは促音に関する誤用である。漢字の読み調査では促音の挿入・脱落はなかったが、聞き取り調査では誤用がかなりあること、漢字の読み調査で多い誤用は、漢字の読み（音読み）で後接する音によって促音化したりしなかったりする場合に、促音化・不促音化が多く観察されるものだが、このような誤用は聞き取り調査では見られないこと、の2点である。漢字の読みでは、促音あるいは促音でない形の読みとして固定的に同一の漢字の読みを覚えてしまうために、促音化・不促音化の誤用が起きやすいのであり、発音の誤用ではなく漢字の読みの習得の問題と考えられる。しかし、聞き取り調査で促音の挿入・脱落がかなり見られることから、日本語の促音や無声化する音節などは、区別して聞き取るのは難しいと言える。

また、聞き取り調査だけから得られた誤用としては、サ行の拗音化・直音化、ラ行音からダ行音への交代、ハ行音からカ行音への交代がある。漢字の読みでこれらの誤用が起きないのは、ベトナム語には漢語（漢越語）はあっても、漢字を使用していないために、漢字の文字と発音が結びつきにくく、漢字の読みは実際の音声から切り離されて理解（学習）されるからではないかと考えられる。一方、聞き取りで多くの誤用が観察されたのは、例えばベトナム語（ハノイ方言）では、s・xで綴られる音声は日本語のシャ行音に近い、lで綴られる音声は英語のlのような音で日本語のラ行音とはかなり違っていて、しかもベトナム語母語話者にとってラ行とザ行は区別しにくいなど、ベトナム語と日本語の子音の音声・体系がかなり違っていることに関係があるのではないかと思われる（注5）。

以上、2種の調査の結果を比較して考察した。考察は、未だ浅いもので不十分ではあるが、漢字の読み調査では、必ずしも発音に基づく誤用ばかりではないことや、発音に基づく誤用が起こりう

るものでも漢字の読みを表記することには影響しないものものあることなどがわかった。漢字の読み調査では、ベトナム語圏学習者の日本語の発音における問題点は部分的にしか調査できないと言うことである。とは言え、音声に基づくものではないが漢字の読みにも特有の誤りも存在し、それは発音聞き取り調査からは得られないものである。

6 今後の課題

本小論では、ベトナム語圏日本語学習者を被調査者として、漢字の読み調査と聞き取り調査の結果を示し、それらの調査から得られる誤用の実態といくつかの特徴などを指摘した。本小論では、実態を示すことに比重を置いていたので、分析・考察については今後さらに深め、誤用の特徴をより明らかにしつつ、なぜそのような誤用が起きるかも解明していくことが重要だと考えている。また、限られた調査語についての誤用・正用をもとにした分析であったので、2種それぞれの調査についても誤用の全容を明らかにできていない部分が残っていることは否めない。したがって、調査票を改善しつつ、調査分析をさらに重ねていく必要がある。また、本小論では取り上げなかった学習者の調査票読み上げ（発音）調査の結果や、自然談話などにおける発音の観察・分析も進めていかなければならない。そして、種々の調査とその分析を重ねることによって、認識としての発音と、音声としての発音の間にどのような一致点・ずれがあるかや、誤用のメカニズムなど、多角的にベトナム語圏学習者の日本語の発音について解明していくことができると考えている。また、同じ漢字圏の中国語圏学習者や朝鮮語圏学習者との比較対照も進めていきたい。いずれも今後の課題として取り組んでいきたい。

《注》

(注1) 石田(1989) p.291~294, 杉本(2000)。

(注2) ここで指摘した中国語圏学習者の日本語の発音に関わる誤用の他、中国語圏・朝鮮語圏出身で中・上級日本語レベルの学習者の漢字の読み表記における誤用としては、次のような特徴が指摘できる。①有気・無気の対立である中国・朝鮮語圏の学習者は、漢字の読み表記において無声子音の有声化・有声子音の無声化の誤用が最も多く、その主な原因は母語の干渉と考えられる。②母音の短音化・長音化の誤用は、有声化・無声化に次いで多い誤用で、音読み語にはほぼ誤用が限られ、しかも誤用の起きる音節に音韻的制約が顕著である。③有声化の誤用ならびに短音化・長音化の誤用では、中国語圏学習者は語中尾に、朝鮮語圏学習者は語頭に誤用が多いという違いがある。④促音や撥音に関する誤用は、中国語圏の学習者に多く観察され、誤用の現れ方にはいくつかの特徴が見られる。⑤漢字の音と訓との間での誤用も中国語圏の学習者に非常に多く、1字1音の中国語と1字複数音の日本語との違いに関係するようである。⑥朝鮮語圏学習者(=韓国出身者)に特徴的に観察されるのは漢字の字形や意味に関連する誤用で、母国・母語では漢字使用が日常的でないことに関係すると考えられる。これらの特徴につ

いて全体的に見ると、中国語圏も朝鮮語圏も漢字圏であるが、中国語圏学習者においてより多種で数多くの誤用が観察された。なお、漢字の読み表記の誤用は、日本語学習者のいわば認識としての日本語発音の誤用であり、実際の学習者の発音そのものとはずれている場合があることは否めない。また、有声化・無声化などでは、ゝ（濁点）の付け忘れのような単純な表記の誤りも含まれているものと考えられる。詳しくは杉本(2000)で述べた。

(注3) 本小論で示した2種の調査のうちの〈発音の聞き取り調査〉調査票は、若干の語・短文を加えたものの、ほぼ同じ調査語彙・文を用いて、日本語学習者による読み上げ式の〈日本語の発音調査〉の調査票とし、2003年調査において、上掲の2つの調査と同時に実施した。なお、本小論においては、〈日本語の発音調査〉は調査結果の分析の途中にあるので取り上げない。

(注4) 促音の挿入と脱落の誤用は、複数の回答はなかったものの、「てッつだう(手伝う)、ちょッくせつ(直接)」など、回答そのものはいくつか見られた。

(注5) 上條厚(1998)でも、ベトナム語母語話者(南部方言)のベトナム語の音声と日本語の音声の比較対照から、同様の指摘がある。

[付記] ベトナム・ハノイにおける調査では、茨城大学人文学部と交流協定を締結しているハノイ国家大学社会人文科学大学の東洋学部日本語科教官のTrần Thị Chung Toàn先生、ハノイ外国語大学日本語学部教官のNguyễn Thanh Vân先生、ならびに両大学で日本語を学んでいる学生のみなさんのあたたかいご協力をいただいたことに心より感謝申します。

《参考文献》

- 石田敏子(1989)「漢字の指導法(非漢字系)」、『講座日本語と日本語教育第9巻』, 明治書院
- 上條 厚(1998)「ベトナム語の発音とベトナム語話者の日本語の発音に関して」, 日本語教育論集第4号, 国立国語研究所日本語教育センター
- 村崎恭子(1978)「アジア留学生の日本語のクセ」, 言語生活No.322, 筑摩書房
- 杉本妙子(2000)「漢字の読み表記の誤用について -中国語圏・朝鮮語圏の中・上級学習者の誤用例から-」, 茨城大学人文学部紀要コミュニケーション学科論集7号
- 西口光一・河野玉姫(1994)『KANJI IN CONTEXT(中・上級学習者のための漢字と語彙)』, ジャパンタイムズ
- 専門教育出版(1998)『改訂 品詞別・A~Dレベル別 一万語語彙分類集』, 専門教育出版

表1 2002年3月調査の調査票（1ページ）

日本語の漢字・発音についての問題 2002.3						
名前 [] No. 1						
次の漢字の読みを書いてください。						
影響	習慣	住宅	対象	願望	風景	一般的
少数	実行	価値	作業	年配	欧米	典型的
直接	復活	完備	地面	許可	組織	合理的
遠慮	登山	出世	欠点	大量	事故	代名詞
首都	状態	重要	前年	話題	信号	中国人
必要	集中	地球	直行	宿泊	保証	世界中
配達	都会	表示	大事	主要	多様	大会社
達成	普及	欠席	一生	復習	伝言	役立つ
犯人	土地	本当	作品	円高	趣味	一段と
注文	平等	暖かい	多少	豊か	貢献	手伝う
現象	見方	整える	腕	仕組み	区切る	
目立つ	長引く	予定通り	経済大国			

表 2 2002年3月調査の調査票 (2 ページ)

名前 [] No. 2
<p>単語の発音を聞いて、() にひらがなかカタカナで書いてください。外来語もたくさんあります。文の場合は、() の部分の単語だけを書いてください。</p>	
()	() ()
()	() 電子 ()
()	() ()
()	彼は () を振って、() 笑いました。
新しい () の () ()。	
() を浴びる。	() をする。 赤い ()。
Nước mắm と () は味が違います。	() を飲む。
あそこが () の () です。	() を飲む。
() を食べる。	電気の () を入れる。
() が飲みたい。	ここが Hà Nội の () です。
新製品の () を () ください。	() がたまる。
() に乗る。	とても () な () です。

表3 2002年3月調査の調査票(3ページ)

名前 [] No 3
<p>() 早いです。 () 会いましょう。 () を聞く。</p> <p>Toàn先生に会えなくて () です。 Phuさんは () です。</p> <p>ここが () です。 () () が過ぎました。</p> <p>彼女<small>かのじょ</small>は () に住んでいます。その () は、とても広くて きれいです。 それを () ください。 強い力で () する。</p> <p>ベトナムと日本の () は () ところがあります。</p> <p>どこから () のですか。 () から出てください。</p> <p>恋人<small>こいびと</small>に () を書く。 若い<small>わか</small> () がいます。</p> <p>桜<small>さくら</small>は日本の () です。 日本 () 。 いい仕事を したので () をほめた。 ありがとうは () のことばです。</p>	
<p>*調査にご協力くださり、ありがとうございます。*</p> <p>*結果は、後日、お知らせします。*</p>	
<p>いばらきだいがくじんぶんがくぶ すぎもと たえこ 茨城大学人文学部 杉本 妙子</p>	

表 4 2002年3月調査の解答例

日本語の漢字・発音についての問題 2002年3月

p. 1 漢字の読み

えいきょう 影響	しゅうかん 習慣	じゅうたく 住宅	たいしょう 対象	がんぼう 願望	ふうけい 風景	いっぽんてき 一般的
しょうすう 少数	じっこう 実行	かち 価値	さぎょう 作業	ねんぱい 年配	おうべい 欧米	てんけいてき 典型的
ちよくせつ 直接	ふっかつ 復活	かんび 完備	じめん 地面	きょか 許可	そしき 組織	ごうりてき 合理的
えんりょ 遠慮	とざん 登山	しゅっせ 出世	けってん 欠点	たいりょう 大量	じこ 事故	だimeiし 代名詞
しゅと 首都	じょうたい 状態	じゅうよう 重要	ぜんねん 前年	わだい 話題	しんごう 信号	ちゅうごくじん 中国人
ひつよう 必要	しゅうちゅう 集中	ちきゅう 地球	ちよっこう 直行	しゅくはく 宿泊	ほしょう 保証	せかいじゅう 世界中
はいたつ 配達	とかい 都会	ひょうじ 表示	だいじ 大事	しゅよう 主要	たよう 多様	だいがいしゃ 大会社
たっせい 達成	ふきゅう 普及	けっせき 欠席	いっしょう 一生	ふくしゅう 復習	でんごん 伝言	やくだ 役立つ
はんにん 犯人	とち 土地	ほんとう 本当	さくひん 作品	えんたか 円高	しゅみ 趣味	いちだん 一段と
ちゅうもん 注文	びやうどう 平等	あたたかい 暖かい	たしょう 多少	ゆたか 豊か	こうけん 貢献	てつだ 手伝う
げんしょう 現象	みかた 見方	ととの 整える	うで 腕	しく 仕組み	くぎ 区切る	
めだつ 目立つ	ながび 長引く	よていどお 予定通り	けいざいだいこく 経済大国			

p. 2 単語の発音の聞き取り

(サラリーマン) (アナウンサー) (エネルギー)
 (スーパーマーケット) (サッカー) 電子(レンジ)
 (ハンドバッグ) (アルバイト) (カセットテープ)
 (キーワード) 彼は(手)を(振)って、(にっこり) (わら) 笑いました。
 新しい(コンピュータ) (ネットワーク) (システム)。
 (シャワー) (あ)を浴びる。(シャンプー) (を)する。赤い(リボン)。
 Nuoc mamと(しょう油) (あじ) (ちが)は味が違います。(コーラ) (の)を飲む。
 あそこが(コピー) (の) (コーナー) (の)です。(お茶) (の)を飲む。
 (チョコレート) (を)食べる。電気の(スイッチ) (を)入れる。
 (コーヒー) (の)が飲みたい。ここがHanoiの(中心) (の)です。
 新製品の(サンプル) (を) (見て) (を)ください。(ストレス) (が)たまる。
 (タクシー) (の)に乗る。とても(ユニーク) (な) (レポート) (の)です。

p. 3

(まだ) 早いです。(また) 会いましょう。(ニュース) (を)聞く。
 Toan先生に会えなくて(残念) (の)です。Phuさんは(ハンサム) (の)です。

ここが（額）です。（ちょうど）（百年）が過ぎました。
彼女は（マンション）に住んでいます。その（キッチン）は、とても広くてきれいです。それを（三つ）ください。強い力で（圧迫）する。
ベトナムと日本の（文化）は（似ている）ところがあります。
どこから（入った）のですか。（出口）から出てください。
恋人に（ラブレター）を書く。若い（男女）がいます。
桜は日本の（シンボル）です。日本（列島）。いい仕事をしたので（部下）をほめた。ありがとうは（感謝）のことばです。

表5 2003年3月調査の調査票（1ページ）

日本語の漢字・発音についての問題 2003.3								
名前 [] No. 1								
次の漢字の読みを書いてください。								
影響	習慣	住宅	対象	願望	風景	結婚	全部	一般的
点数	実行	作業	病院	能力	特殊	実現	昔	日本列島 ^{にほん}
直接	復活	許可	組織	連絡	卒業	募集	数字	合理的
遠慮	登山	大切	事故	新聞	写真	根拠	余計	冷蔵庫
京都	状態	重要	前年	信号	学校	発表	種類	外国語
必要	集中	直行	宿題	保健	授業	元気	練習	日本酒
配達	都会	注意	大事	主要	電気	関係	回転	自転車
発生	普及	欠席	復習	伝言	男女	存続	旅行	規模
予定	土地	本当	作品	趣味	文化	前後	作家	一段と
努力	映画	悪化	心配	親切	出席	出場	熱心	果物
暖かい	豊か	手伝う	整える	覚える	登る	考える	配る	届ける
違う	涙	訴える	絶対に	優勝	上下	大使館		

表6 2003年3月調査の調査票(2ページ)

名前 [] No. 2
<p>単語の発音を聞いて、() にひらがなかカタカナで書いてください。外来語もたくさんあります。文の場合は、() の部分の単語だけを書いてください。</p>	
<p>飲みもの; () () () ()</p>	
<p>食べ物; 日本 () () ()</p>	
<p>() () ()。</p>	
<p>() () ()</p>	
<p>() () ()</p>	
<p>() () ()</p>	
<p>電気の () 円の () () を撮る。</p>	
<p>カメラの () と ()、それに ()</p>	
<p>新しい () () 本を () する。</p>	
<p>日本語 () とても () な () です。</p>	
<p>大学の () () を () に読む。</p>	
<p>大学を () する。 () を聞く。 勉強に () する。</p>	
<p>日本と () の () は () ところがあります。</p>	
<p>民族 () あのおじいさんは () () です。</p>	
<p>日本人はよく () する。 () は日本の () です。</p>	
<p>日本 () は細長い。 () は、とても () がある街</p>	
<p>です。 日本語が上手なのは () です。 () に乗る。</p>	
<p>交通 () () () に () する。</p>	
<p>一日 () 三日 左右 () () の上司と ()</p>	
<p>() をつかむ。 とても () です。 () を飲む。</p>	

表7 2003年3月調査の調査票（3 ページ）

名前 [] No. 3
ここが () です。 強い力で () する。	
() の () 友人と () () に行く。	
きれいな () () に行く。 計画を () する。	
私の () は読書です。 () をする。 服の ()	
服の () 赤い () 彼は () です。	
彼女は () に住んでいます。 () は台所です。	
() をする。 () を浴びる。 () をする。	
() 早いです。 () に入る。 () 笑う。	
新製品の () を () ください。 恋人に () を	
書く。 若い () がいます。 彼らは () です。	
() を振る。 () の箱 箱の中は () です。	
同じ () の () 大きな () が見える。	
スポーツの () 誕生日の () とても () な人	
これは () あるもので () がある。 選挙に () する。	
それを () ください。 () がたまる。 文を ()	
どこから () のですか。 となりの家が () になった。	
ありがとうは () のことばです。 みなさん () 会いましょう。	
* 調査にご協力くださり、ありがとうございます。 *	
* 結果は、後日、お知らせします。 *	
いばらきだいがくじんぶんがくぶ すきもと たえ こ 茨城大学人文学部 杉本 妙子	

表 8 2003年3月調査の解答例

日本語の漢字・発音についての問題 2003年3月 ※ 「」=調査票の改行位置

p.1 漢字の読み

えいきょう しゅうかん じゅうたく たいしょう がんぼう ふうけい けっこん ぜんぶ いっぱんてき てんすう じっこう さぎょう びょういん
 影響 習慣 住宅 対象 願望 風景 結婚 全部 一般的 「 点数 実行 作業 病院
 のちよく とくしゅ じつげん わかし にほん れっとう ちよくせつ ふっかつ きょか そしき れんらく そつぎょう ぼしゅう すうじ
 能力 特殊 実現 昔 日本 列島 」 直接 復活 許可 組織 連絡 卒業 募集 数字
 ごうりてき えんりょ とざん たいせつ じこ しんぶん しゃしん こんきょ よけい れいぞうこ きょうと じょうたい
 合理的 「 遠慮 登山 大切 事故 新聞 写真 根拠 余計 冷蔵庫 」 京都 状態
 じゅうよう ぜんねん しんごう がっこう はっぴょう しゅるい がいこくご ひつよう しゅうちゅう ちようこう しゅくだい ほけん じゅぎょう
 重要 前年 信号 学校 発表 種類 外国語 「 必要 集中 直行 宿題 保健 授業
 げんき れんしゅう にほんしゅ はいたつ とかい ちゅうい だいじ しゅよう でんき かんけい かいてん じてんしゃ
 元気 練習 日本酒 」 配達 都会 注意 大事 主要 電気 関係 回転 自転車 「
 はっせい ふきゅう けっせき ふくしゅう でんごん だんじょ そんぞく りょこう きぼ 「 よてい とちほんとう さくひん しゅみ
 発生 普及 欠席 復習 伝言 男女 存続 旅行 規模 」 予定 土地 本当 作品 趣味
 ぶんか ぜんご さっか いちだん とりよく えいが あっか しんばい しんせつ しゅつせき しゅつじょう ねっしん くだもの
 文化 前後 作家 一段と 「 努力 映画 悪化 心配 親切 出席 出場 熱心 果物 」
 あたかい ゆた 手つた ととの おぼ 登る かんが 配る とど ちが なみだ うった
 暖かい 豊か 手伝う 整える 覚える 登る 考える 配る 届ける 「 違う 涙 訴える
 ぜったい ゆうしょう じょうげ たいしかん
 絶対に 優勝 上下 大使館

p.2 聞き取り

の
 飲みもの; (コーラ) (お茶) (コーヒー) (ジュース) 「 食べ物;
 日本 (料理) (てんぷら) (チョコレート) 」 (すき焼き) (しょう
 油) (ハンバーグ) 「 (サラリーマン) (アナウンサー) (ハンド
 バッグ) 「 (エネルギー) (アルバイト) (カセットテープ) 「
 (サッカー) (スーパーマーケット) (冷蔵庫) 「 電気の (スイッチ)
 円の (中心) (写真) を撮る。カメラの (レンズ) と (シャッター) ,
 それに (フィルム) 「 新しい (コンピュータ) (キーワード) 本を (コ
 ピー) する。 」 日本語 (ジャーナル) とても (ユニーク) な (レポート)
 です。 「 大学の (システム) (新聞) を (熱心) に読む。 「
 大学を (卒業) する。 (ニュース) を聞く。 勉強に (集中) する。 「 日本
 と (中国) の (文化) は (似ている) ところがあります。 「 民族 (衣装)
 あのおじいさんは (ちょうど) (百歳) です。 「 日本人はよく (遠慮) する。
 (桜) は日本の (シンボル) です。 「 日本 (列島) は細長い。 (京都)
 は、とても (歴史) がある街 「 です。 日本語が上手なのは (当然) です。
 (タクシー) に乗る。 「 交通 (事故) (道路) (信号) に (注
 意) する。 「 一日 (ふつか) 三日 左右 (上下) (会社) の上司と (部
 下) 「 (チャンス) をつかむ。 とても (残念) です。 (薬) を飲む。
 」

p. 3

ここが（額）です。強い力で（圧迫）する。」（昔）の（懐かしい）
 友人と（しゃべる）（旅行）に行く。」きれいな（風景）（病院）
 に行く。計画を（発表）する。」私の（趣味）は読書です。（おしゃれ）
 をする。服の（柄）服の（ポケット）赤い（リボン）彼は（
 ハンサム）です。」彼女^{かのじょ}は（マンション）に住んでいます。（キッチン）は台^{たい}
 所^{どころ}です。」（留守番）をする。（シャワー）を^あ浴びる。（シャンプー）を
 する。」（まだ）早いです。（保険）に入る。（にっこり）^{わら}笑う。」
 新製品^{しんせいひん}の（サンプル）を（見て）ください。恋人^{こいびと}に（ラブレター）を」書
 く。若い^{わか}（男女）がいます。彼らは（夫婦）です。」（手）を^ふ振る。
 （プラスチック）の箱 箱の中は（空）です。」同じ（種類）の（ボー
 ルペン）大きな（看板）が見える。」スポーツの（審判）誕生日の
 （プレゼント）とても（親切）な人」これは（由来）あるもので（価値）
 がある。選挙に（当選）する。」それを（三つ）ください。（ストレス）
 がたまる。文を（作る）」どこから（入った）のですか。となりの家が（火
 事）になった。」ありがとうございます（感謝）のことばです。みなさん（また）会
 いましょう。」